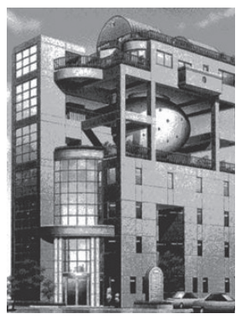
日本国民への提言 ㊳

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで、日本を再生する

たまごビル　院長　**石垣　邦彦**

〒581-0061
大阪府八尾市春日町1-4-4
電話072（991）3398
FAX072（991）4498
ホームページアドレス
http://www.tamagobl.com/



たまご理論で病気のしくみを考える

第８回 チャリティー たまご会

第8回東日本大震災チャリティーたまご会が4月14日（土）、たまごビルで開催されました。

今年の演題は『放射能災害から「いのち」を守る―風評被害を乗り越えて』です。

講師は、福島大学名誉教授　清水修二先生（写真）です。

清水先生は経済学が専門で、福島原発の事故が起こる以前から、経済学的観点と社会的制度を土台にして原子力発電との関係を研究しておられました。体験に基づいた低放射能汚染にともなう問題点と対策を述べられました。

また、

八尾市長　田中誠太

東大阪市立医療センター院長　辻井正彦

八尾市消防署副署長　丸尾京弘

の各氏から質問があり講座は熱気を帯び、今年も有意義な東日本大震災チャリティーたまご会となりました。

天皇陛下の「国民一人ひとりが、被災した各地域の上にこれからも長く心を寄せ、被災者とともにそれぞれの地域の復興の道のりを見守り続けていくことを心より願っています」とのお言葉をかみしめてゆきたいと思います。

『放射能災害から「いのち」を守る』

― 風評被害を乗り越えて ―

講師

福島大学名誉教授

清水修二 先生

本紙では、「放射線被ばくは遺伝しない」ことについて正しい知識をお伝えしたいと思います。今回の講座の全てを知りたい方は、たまごビルHPをご参照ください。

それでは、清水修二先生のご提案をお聞きください。

「遺伝への懸念」がもたらす悲劇

原発賛成・反対にかかわらず 「福島の放射線被ばくは遺伝しない、感染しない」

清水修二（福島民報2013・8・17）

放射能災害の健康への影響を調べる県民健康管理調査については、甲状腺がんばかりが問題になっているが、ある意味でもっと深刻なのは、遺伝的な影響を心配する県民意識の現状である。

6月の検討委員会で公表された「こころの健康度」調査結果によれば、避難区域住民を中心とした21万人あまりの成人へのアンケート調査で、

「現在の放射線被ばくで、次世代以降の人への健康影響がどれくらい起こると思いますか」

の問いに、実に34・9％が「可能性は非常に高い」と答えている。やや高いと答えた人を加えれば60・2％だ。

6割が被ばくの影響が遺伝すると考えている。これは大変なことである。

広島・長崎の被爆者の健康調査で、被ばくによる遺伝的な障害は確認されないという結論が出ている。チェルノブイリ事故の被災地でも、先天異常の発生率は汚染地域と他地域とで差がないと公式に報告されている。

まして、福島事故での住民の被ばく量はチェルノブイリと比べれば遙かに少ないのである。

心臓奇形をはじめとする先天奇形・異常は通常からある程度の確率で発生する。福島でそうした子どもを出産した親の気持ちを考えてみてほしい。「あのとき避難しなかったのがよくなかったのではないか」という悔恨、そして東京電力や政府に対する怨念や憤怒を、一生かかえながら生きることになるかもしれない。これは悲劇だ。

また「妊産婦に関する調査」の結果も報告された。

「次回妊娠・出産をお考えですか」

との質問に「いいえ」と答えた人の14・6％（複数回答あり）が「放射線の影響が心配なため」という理由に印を付けている。およそ7人に1人が遺伝的影響を恐れて子どもをもつことをためらっているということだ。

事故から既に2年半近くが経過している。この間、本当なら生まれていたはずの子どもが生まれていないという事態が、すでに生じていると考えなければならない。

被災者である県民自身が遺伝的影響の存在を深く信じているようだと、「福島の者とは結婚するな」と言われても全く反論できないし、子どもたち自身から「私たち結婚できないの」と問われて、はっきり否定することもできない。親子ともども一生、打ちのめされたような気持ちで生きなければならないとしたら、これほどの不幸はあるまい。

原爆被爆者たちが歩んだのと全く同じ苦難の道を、福島県民は歩まされるのだろうか。明確な根拠もなく遺伝的な影響を口にする世の「識者」たちは、自らの言動のもつ重い影響と責任を、自覚しているのだろうか。

広島・長崎やチェルノブイリ事故の貴重な経験が、ここ福島で全く生かされていないと言わざるをえない。

低レベル放射線の健康影響については未解明な面があるが、「分かっていない」のひと言で「分かっている」ことまで無視してしまっては、過去の犠牲や教訓は無に帰してしまう。

清水先生の腹の底から絞り出されるようなこころの声が聞こえる提案です。

清水先生はもともと原発反対です。

しかし、あまりにも原発反対派の人々が科学的な事実を無視して（放射線被ばくは遺伝しない・子孫に病気が遺伝しない）、なんでもかんでも原発反対に結び付けることに疑問を感じていました。また、原発反対のために科学的事実を歪曲していることによって多くの人々を苦しめ、子孫にもその苦しみを残してゆくことに憤りを感じ、なんとかしなければならないという思いから生まれ出てきた提案であったのではないでしょうか。

しかし、この清水先生の記事が掲載された後、科学的に正しいか正しくないかではなく、政治的に有利不利で、清水先生は批判にさらされることになります。原発反対に都合の悪い意見＝清水先生の記事＝放射線被ばくは遺伝しない、を契機に清水先生には御用学者のレッテルが張られることになります。

もう一度述べます。清水先生はもともと原発反対です。

しかし、あまりにも科学的事実が原発反対のために歪曲され、絶望的な人生を歩まなければならない人々が出ていることに我慢がならない、なんとかせねばならないとの思いからでした。勇気ある行動です。

この記事が出たのは、平成25年です。それ以前のアンケートに基づいてこの提案はされています。

図1のアンケートは平成29年、図2のアンケートは今年30年の2月です。それでも放射線被ばくは遺伝するという方が半数以上を占めています。

再度述べます。放射線被ばくは遺伝しません。もちろん感染しません。いわれなき差別はとりのぞかなければなりません。

広島や長崎の被爆者が味わった苦しみ。伝染や遺伝はしないのに受け続けた差別や偏見。その差別や偏見を福島の人々が受けるようなことは決してあってはなりません。

日本の国民一人ひとりが正しい知識を身につけいわれなき差別を受けたり、いわれなき差別をすることのないようにする必要があります。

図1

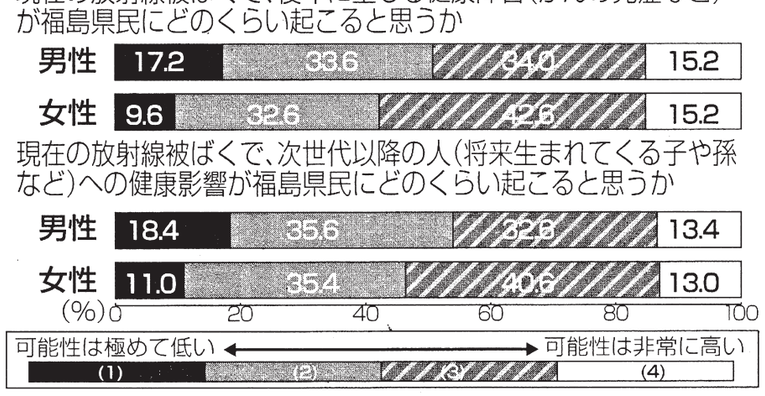
平成27年度結果概要【一般】

放射線の健康影響についての認識2

2)「現在の放射線被ばくで、次世代以降の人（将来産まれてくる自分の子や孫など）への影響がどれくらい起こると思いますか」（n=35,945）

図2

◆東京都民1000人に聞いた、放射線による健康影響についての認識（三菱総合研究所の調査より）



講演 ― あとがき

石垣院長からの一言

私は日本国民の一人として、放射能汚染対策・地震・津波の災害に対処していただいた、また現在も対処していただいている方々に感謝申し上げます。

ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に今回の司会を担当した四方伸明氏（前関西医科大学病理部教授）より挨拶がありました。

放射線被ばくによる遺伝的な風評被害が良くあります。被ばくしたからと言って、子供に遺伝することは無いとわかっています。福島で生まれた子供たちが、将来結婚をためらうなど、あってはなりません。原爆の悲惨さを伝えるため、ドラマや映画でも取り上げられることがありますが、福島の人たちを苦しませるような間違った知識にならないようにしてほしいものです。

善意でやっていることが、人々を傷つけることが無いようにと願っています。

辻井院長　韓国では女性のガンが増えていますが、死亡率は上がっていません。これは検査を受ける人が増加したのでガンの発見が増えているだけです。

福島でも、なんの症状もない全ての子供の検診をした結果、患者数が増えているのであれば、まったく別の地方で同じように検診をすれば、結果が分かると思います。

清水　検査の精度を高めようとすれば、過剰診断になり、莫大な被害者が出てしまう。甲状腺ガンが見つかっても、生命に問題がなければ経過観察でよいのではないかと思います。

しかし、ガンと診断されたら、治療しなくてよいのかという不安が医師にも患者にも出てきて、必要ないのに手術することがあれば、過剰診断になります。非常にむつかしい問題です。

【質問1】

八尾市長　田中誠太

田中市長　放射線被害はむつかしいことを感じ取ったところです。災害が起こった時に市長がすべき17カ条をパソコンのデスクトップに置いています。災害時には協力し合うコミュニティが必要です。災害を防ぐには、オオカミ少年にならざるを得ないと思います。危険がせまったら避難をしてください、と伝え、起こらなかったら良かったと思えるように、また、被害があったときは、避難して良かったと思えるようにしていきたいです。

質問は、災害時の行動をどうするのが良いのでしょうか。

清水　行政に信頼があるかどうかが、災害時に大切です。福島の放射能汚染については、政府に信頼がなかったことで、混乱が起こりました。

田中市長　市民に適切な情報を提供し、さらに信頼を高めるようにしてゆきたいと思います。

【質問2】

東大阪市立医療センター　院長　辻井正彦

辻井院長　経済学者として原発に賛成なのか、反対なのかご意見を聞かせてほしいです。

清水　原子力発電は、完成しているわけではありません。だから稼働中の原発を見直す必要があると思っていました。

しかし実際に事故が起こってみると、被害の甚大さから、やめたほうが良いと思っています。

辻井院長　私は原発には反対ですが、父から、日本の国力のため原発は必要との意見を聞き迷っています。

清水　経済学としての原発批判は、最初に話したように、経済的な利益を農村に与え、その代わり、リスクを農村に押し付けるのは、よいやり方ではないという事からです。

辻井院長　これは検査を受ける人が増加したのでガンの発見が増えているだけです。

福島でも、なんの症状もない全ての子供の検診をした結果、患者数が増えているのであれば、まったく別の地方で同じように検診をすれば、結果が分かると思います。

清水　検査の精度を高めようとすれば、過剰診断になり、莫大な被害者が出てしまう。甲状腺ガンが見つかっても、生命に問題がなければ経過観察でよいのではないかと思います。

しかし、ガンと診断されたら、治療しなくてよいのかという不安が医師にも患者にも出てきて、必要ないのに手術することがあれば、過剰診断になります。非常にむつかしい問題です。

【質問3】

八尾市消防署　副署長　丸尾京弘

丸尾副署長　福島へは八尾市からも隊員を派遣しておりました。

震災後5年後に聞いた話では、子供が普段外へ出て遊ぶことができないということでした。

現在の状況を教えてください。

清水　今はそのような状況はなくなりました。ただ、気にする人は外へ出ないこともあります。

そういう意識はまだあります。

一番納得できるのは、実際に放射線の量を測ってみることです。かなり低くなっているので、学校でも問題ないとしています。

福島からの情報が、更新されないまま残っているのが問題です。実際に福島に行くと、普通に暮らしているので、驚かれるようなことが実際にあります。

丸尾副署長　放射線被害に対して新しい対策などはありますか。

清水　チェルノブイリから農業に関する技術を得ています。30年にわたる経験から、農地の放射線の測定や土地の改良で大きな成果を上げました。世界に誇れる実績です。

質・疑・応・答

河内新聞　購読申込書

「河内新聞」購読を申込みます
〈1ヵ月 850円〉

平成　年　月　日

住所

氏名

電話

……切り取ってハガキに貼付してお送り下さい……

八尾市内 住宅型有料老人ホーム 案内

◎フォーユー八尾北　八尾市高砂町1-22-9
入居敷金　0円　月額　89,500円（宿賃・管理費・食事代）

◎フォーユー八尾　八尾市老原4-98
入居敷金　0円　月額　109,800円（宿賃・管理費・食事代）

◎フォーユー八尾山本　八尾市上之島町北1-57-6
入居敷金　0円　月額　109,800円（宿賃・管理費・食事代）

※入居者様、介護ヘルパー様　募集
詳しくは下記へご連絡下さい

株式会社 日健マネジメント
大阪市西区西本町1-10-3　新松岡ビル
TEL　0120-49-5502

Très bien,Inc.
multi-food-produce
日本料理 天山 TENSAN
冠婚葬祭・各種パーティーのお料理企画運営を承っております。
大阪府・奈良県内セレモニーホール指定業者
大阪府・奈良県内神社・寺院指定業者

あなたの街の葬儀社
八光殿 HAKKODEN
社葬、それは承継と決意の場です。
「後継者の志＝会社の未来」
社会的信頼・社内の結束・会社発展の為、
後継者による社葬の運営が大切です。
社葬の企画・運営は八光殿にお任せ下さい。
0120-39-8510

第4期最終分譲開始　大型公園墓地
八尾 普泉寺霊園
完全バリアフリー設計　大駐車場完備
八尾市福栄町３丁目５番地
お問い合わせは ☎072-996-1111 普泉寺霊園 検索